

“法の力”で現代社会が直面するグローバル化に立ち向かう。

「法化社会に生きる」

シリーズ講演会

全5回

入場
無料

第2回講演会&シンポジウム

「公共政策における法律の役割」

静岡県副知事。

東京大学経済学部卒。

昭和62年4月に自治省に入省し、税務局府県税課課長補佐、内閣官房副長官秘書官、自治省財政局財政課課長補佐、総務省自治財政局調整課課長補佐、北九州市財政局長、総務省大臣官房企画課企画官、同広報室長、同自治税務局税務管理官などを歴任し、平成21年4月から静岡県総務部長、同22年1月から現職。静岡市住。



講師・シンポジスト
おおむら しんいち
大村 慎一 氏

株式会社戸田書店取締役。

京都大学文学部卒。

昭和56年に株式会社戸田書店入社。平成2年から現職。元静岡県教育委員。現在も静岡文化芸術大学教育研修審議会委員、県立病院機構評価委員、静岡県伊豆文学フェスティバル委員、NPO法人清水ネット代表理事、「季刊清水」編集長など多数の要職にある。著書(翻訳)に『幻の薔薇』『ルナ=パーク』がある。静岡市住。



シンポジスト
なべくら のぶこ
鍋倉 伸子 氏

京都大学大学院公共政策連携研究部特別教授。全国市町村国際文化研修所調査研究部長。

東京大学法学部卒。

昭和59年4月に自治省に入省し、同年7月から昭和61年5月まで静岡県財政課に勤務。その後自治省給与課課長補佐、宮内庁侍従、仙台市企画局長、自治医科大学総務部長、総務省行政評価局調査官、東京大学大学院公共政策学連携研究部教授などを歴任し、平成21年4月から現職。著書に『地方自治の機構 地方自治総合講座3』がある。滋賀県住。



シンポジスト
こにし あつし
小西 敦 氏

株式会社静岡新聞社代表取締役専務。

東北大学法学部卒。

昭和47年4月に株式会社静岡新聞社へ入社し、同社社長室長、取締役、常務取締役などを歴任し、平成22年6月から現職。同23年4月から学校法人常葉学園理事。財団法人静岡県年金福祉協会理事、財団法人静岡県文化財団評議員などを歴任。静岡市住。



コーディネーター
きたむら としひろ
北村 敏廣 氏

静岡会場

期日 平成24年 1月18日(水)

会場 ペガサート6F「B-nest」

時間 18:30~21:10 [受付開始 18:00~]

定員 150名 参加対象 一般(高校生以上)

[主催]学校法人常葉学園 [後援]静岡県、静岡市、静岡県弁護士会、静岡県商工会議所連合会、静岡新聞社・静岡放送

※先着順のため、お早めにお申し込みください。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

申込締切 / 平成24年1月13日(金)

参加のお申し込み方法は裏面をご覧ください。

第2回 講演会&シンポジウム 『公共政策における法律の役割』

■講演会の目的

現代社会では、社会のグローバル化、複雑化の進展に伴い、日常生活のあらゆる場面においてコンプライアンスや社会的責任が強く求められるようになりました。

また、わが国では裁判員制度も始まり、国民が法律と濃密に関わる機会が格段に増加する「法化社会」が到来しています。この「法化社会に生きる」ためにわれわれはどうすればよいのか、産学官からのオピニオン・リーダーを交えて様々な角度から検証します。

全5回演題

※演題は予定につき、変更となる場合があります。

第①回目 ~~グローバル化による法化社会の到来~~ (終了)

第②回目 公共政策における法律の役割 (平成24年1月18日・静岡市)

第③回目 現代社会における法の役割 (平成24年4月18日・沼津市)

第④回目 なぜ、コンプライアンスが企業経営に必要なのか
(平成24年7月・浜松市)

第⑤回目 なぜ、今、法学部が必要なのか
(平成24年8月・浜松市、同9月・富士市、同10月・静岡市)

参加申込書

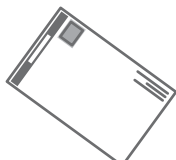
(封書の場合は申込書をコピーして、メールの場合は必要事項を記入してお申し込みください。)

住所	〒		
フリガナ		年齢	歳
氏名		参加人数	人
職業			
電話番号			

参加のお申し込み・お問い合わせは

【常葉学園本部 大学統合学部新設事務局 講演会係】

郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、連絡先電話番号(携帯可)、参加人数を明記の上、上記宛まで郵便・FAX・メールのいずれかにてお申し込みください。



ハガキ・封書でお申し込みの方

〒420-0911
静岡市葵区瀬名1丁目22番1号



FAXでお申し込みの方

FAX/054-261-5601



メールでお申し込みの方

mizuochi@hdo.tokoha.ac.jp